

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

NO.1

嬉野市議会議員

宮崎 良平

実施月日	平成31年8月26日		
実施時間	14時～17時40分		
調査先	ロワジールホテル那覇及び航空自衛隊那覇基地		
調査所在	那覇市西3-2-1(ロワジール那覇) 那覇市字当間301(航空自衛隊那覇基地)		
調査の目的	第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会および航空自衛隊那覇基地研修視察		
調査先担当者	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会 会長 又吉清義		
内容・結果等	●第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会		
	内容 ①役員就任について(会長 又吉清義、副会長 山川典二、幹事長 花城大輔、監事 山川典二) ②会長挨拶 ③来賓挨拶		
	④議案審議第1号議案 平成30年度事業報告(案)及び決算(案)について 原案通り可決		
	④議案審議第2号議案 令和元年度事業報告(案)及び予算(案)について 原案通り可決		
	⑤大会決議 ⑥次期開催県 大分県 浜田洋会長 挨拶		
	●防衛講話【南西諸島を取り巻く安全保障環境】		
	講師 航空自衛隊 南西航空方面隊司令官 空将 鈴木康彦氏		
	○東アジアの中心。那覇を中心に円を描くと1500km圏内に香港、マニラ、ソウル、東京が入る環境にある。様々な課題や不安定要因が顕在化・先鋭化している。特に緊急発進(スクランブル)の回数は年々増加傾向にある。		
○沖縄県の面積2,281km <sup>2</sup> 国土面積0.6%の土地に米軍施設約1,849km <sup>2</sup> と70.28%を占めている。			
●感想 総会は原案通り可決。南西諸島を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しており、特に中国から見れば、東シナ海を実効支配するためには沖縄が重要な地域であり、緊急発進(スクランブル)の回数においても中国機への数が全体の6割を越えている。日に日に脅威を増す中で、我々も、国防ということにもっとしっかり向き合うべきだと感じた。また質問の中で長崎県島嶼部の安全が脅かされているということに、危機感を覚えた。那覇基地については、今後佐賀空港での自衛隊機と民間機共同運航において、参考になるものと考える。			
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 ( 円 )
	旅費及び宿泊費 長崎～那覇往復航空券 沖縄2泊分宿泊費含む		51,370
	合 計		51,370

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

NO.2

嬉野市議会議員

宮崎 良平

実施月日	平成31年8月27日		
実施時間	9:45~11:40		
調査先	宜野湾市役所		
調査所在	宜野湾市野嵩一丁目1番1号		
調査の目的	普天間基地の概要について		
調査先担当者	宜野湾市議会 東川上 芳光事務局長 基地政策部基地渉外課 吉村 純課長 同 崎原邦子係長		
内容・結果等	<p>●松川正則 宜野湾市長、上地安之 宜野湾市議会議員 表敬</p> <p>松川市長より普天間基地の概要説明・・・①まちのど真ん中にある普天間飛行場。返還合意の原点は危険性の除去と基地負担の軽減、戦後70年以上もの長期間、航空機事故の危険性や騒音被害等、市民の生活環境に大きな負担を強いていることに加え、効率的なまちづくりを進めていくうえでの阻害要因になっている。</p>		
	②普天間飛行場の常駐機 オスプレイ24機 スーパースタリオン12機含む 58機		
	③所有形態 地主 3,722人(市内在住2,178人) 年間賃貸料74億4,800万円		
	④基地と財政 一般会計歳入額425.5億円に対し基地関係収入は27.8億円 割合6.5%		
	<p>●感想 1945年沖縄戦のさなか米軍が宜野湾市の一部集落を強制摂取したのが普天間飛行場の始まりである。実際飛行場周辺を見るといびつな都市形成が出来上がっている。周辺には120箇所の公共施設などが存在し、市民は常に墜落の危険性と騒音などの基地被害にさらされている状況に、もっと我々も、国も地方自治体も沖縄の基地軽減に真剣に捉え考えていくべきではなかろうかと改めて感じた。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 ( 円 )
			No.1に同じ
	合 計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

NO.3

嬉野市議会議員

宮崎 良平

実施月日	平成31年8月27日		
実施時間	14:00~16:00		
調査先	名護市 辺野古交流プラザおよびキャンプシュワブ(辺野古埋め立て)ゲート前周辺		
調査所在	名護市辺野古913番地10		
調査の目的	辺野古埋め立て問題について		
調査先担当者	名護市議会議員 宮城 安秀氏		
内容・結果等	●名護市及び辺野古の現状		
	①名護市の人口 55区の62,000人、うち辺野古区は13区 約3,000人		
	②普天間基地の移転先として、名護市辺野古が日米間の協議の上決定されている。		
	③名護市全体では移設反対派が60~70%あるが、辺野古区においては70%が容認である。辺野古区は市街地から山を隔てた地域にあり、名護市街地の住民のほとんどは現状をあまり把握してない状況にある。		
	④辺野古埋め立てゲート前においては、反対派の抗議活動が行われているが、9時、12時、15時と時間になると事務的に集まり抗議している現状である。活動家の多くは地元以外どころか、県外からが大半であるとのことであった。		
	●感想 前日に普天間基地を視察し、早期移転を願う多くの普天間市民と、受け入れ地となった名護市辺野古の市民において、県内でありながら政治的決断によって生まれた互いの複雑な感情を覚えた。また特徴的だったのは移設反対派が60~70%という統計がある中、私が出会った名護市の様々な事業者、市民においては容認派が多かったこと、それと基地問題ばかりがクローズアップされているが、これまでも市民と米軍の間には地域ボランティア等、様々な地域に根付いた活動を続けてきており、それより地元経済、観光の発展、子育て、福祉などの生活に密着した政策論争が行われない政治に対し飽き飽きしているという声に対し驚きを感じた。ある飲食店の店主が「今は反対派もお金を落としていただけのお客様ですよ」と笑顔で言われた言葉が、妙に力強く、今回の視察で一番胸にストンと落ちた言葉であった。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 の 先	金 額 ( 円 )
			No.1に同じ
	合 計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること